


5. 景観形成の基準

(3) 駐車場

地区内の大規模な駐車場は、自然豊かな温泉街のイメージが損なわれないよう、背景となる自然や街並みとの調和を図ることで、街並みの連続性に配慮した景観形成を目指します。

項目等		基準
美観の維持		○温泉街の街並みのイメージを損なわないよう、駐車場内を清掃するなど美観の維持に努める。
塀や柵	材質・色彩	<p>○駐車場の道路に面する部分は、植栽や、素材・色彩に配慮した塀や柵の設置を行うなど、周囲の街並みと調和するよう工夫する。</p> <p>【解説】屋外の平面駐車場は、温泉街としての景観を分断し、殺風景な印象を与える可能性があります。このため、特に大規模な平面駐車場は、防犯面に配慮しつつ、駐車車両や設備が丸見えにならないよう、周囲の街並みに配慮し、目隠しとして生垣や植込などを配置したり、木や石などの自然素材あるいは落ち着いた色彩の塀・柵などを設置しましょう。</p> <p>木柵等によって周囲の街並みと調和するよう工夫されている例</p>  <p>※駐車場に設置する柵は自然素材が望ましいですが、難しい場合は、茶系の色彩を選定するなど周囲の景観に馴染むような色彩を使用しましょう。</p>

基準が適用される区域

景観まちづくり推進区域


景観誘導区域

<p>緑化</p>	<p>○みどり豊かな定山溪の印象を損なわないよう、駐車場内は適宜緑化する。</p> <p>【解説】駐車場の殺風景なイメージを緩和するため、道路に面する部分はもとより、駐車場内も適宜緑化しましょう。</p> <p style="text-align: center;">駐車場内のスペースを一部緑化している例</p> 
<p>建築物に付随する立体駐車場*</p> <p>※立体駐車場については、この基準のほか、建築物・工作物として該当する他の基準にも適合させる必要があります。</p>	<p>○建築物に付随する立体駐車場は、主となる建築物との調和に配慮した仕上げとするか、植栽等により修景する。</p> <p>【解説】宿泊施設等に併設される立体駐車場は、無機質な印象を与えないよう、外観の仕上げを宿泊施設等と同色・同素材とするなど、主となる建築物と一体的に見えるよう工夫しましょう。これによりがたい場合は、歩行者への視線に配慮し、道路沿いの敷地際に生垣や植込などを配置したり、木や石などの自然素材あるいは落ち着いた色彩の塀・柵など緩衝帯となるものを設置しましょう。</p> <p style="text-align: center;">立体駐車場を植栽により修景している例</p> 

5. 景観形成の基準

(4) 夜間景観


温泉街の様々なあかりの演出に配慮することで、夜間の温泉街の魅力を創出し、ぬくもりが感じられる景観形成を目指します。

項目等	基準
屋外照明の色温度	<p>○屋外に照明を設置する場合は、できるだけ色温度の低いあかりを使用する。</p> <p>【解説】温泉街の風情を演出するため、外構等に屋外照明を設置する際は、ぬくもりが感じられるよう、できるだけ暖かみのあるものを使用しましょう。また、人が多く歩く時間帯は可能な限り点灯するよう心がけましょう。</p> <p>また、街路灯についても、街全体の統一感を図るため、できる限り暖かみのあるあかりのものを使用しましょう。</p> 
屋外照明	<p>○指定路線沿いの屋外照明は、あかりの連続性や歩行空間の魅力的な演出に配慮した照明計画とする。</p> <p>【解説】夜のそぞろ歩きを楽しむ環境が整うことで、温泉街としての魅力も高まります。指定路線沿いの建築物や工作物に付随する屋外照明を設置する際は、歩行者が安心して歩けるよう周囲の照明との連続性に配慮し、歩行空間を照らすように配置しましょう。</p> <p>また、周囲の街並みとの調和や歩行者の安全に配慮した上で、道路沿いの建築物の顔となる部分をライトアップにより演出し、魅力的な夜間景観を創出しましょう。</p> 

基準が適用される区域

景観まちづくり推進区域

景観誘導区域

<p>建築物からの漏れるあかり</p>	<p>○指定路線沿いや溪谷沿いの建築物は、窓から漏れるあかりを意識し、できる限り色温度の低い照明を使用する。</p> <p>【解説】建築物の窓から漏れるあかりは、ぬくもりが感じられる夜間景観を演出する上で重要な要素です。指定路線や眺望点からの見え方に配慮し、建築物の窓から漏れるあかりはできるだけ暖かみのあるものを使用しましょう。</p> <p>色温度が低い照明が窓から漏れることによってぬくもりが感じられる夜間景観を演出</p> 
<p>動光等を伴う照明</p>	<p>○激しい動光等を伴う照明は使用しないようにする（但し短期間のイベント等に使用する場合は除く）。</p> <p>【解説】温泉街としての落ち着いた雰囲気を損なわないように、短期間のイベント（クリスマス期間等）や地域住民や事業者等が主体で行う定山溪の観光振興に資するイベントなどを除き、ネオン等の激しい動光を伴う照明は使用しないようにしましょう。</p>

ライト
アップ

○眺望点から望むことができる溪谷沿いの建築物などは、溪谷へのライトアップなどで美しい夜景づくりを心がける。

【解説】夜間も美しい溪谷の景観が際立つよう、眺望点や指定路線沿いからの眺めに配慮し、河川や溪谷沿いの建築物、橋、みどり等をライトアップするなど、美しい夜景づくりを心がけましょう。また、その際には昼間の溪谷への眺めを阻害しないよう、照明器具は目立たない色彩・位置とするなど自然環境に配慮した上で修景を心がけましょう。








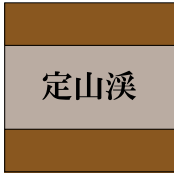


宿泊施設側からの溪谷へのライトアップの例

5. 景観形成の基準

(5) 広告物等

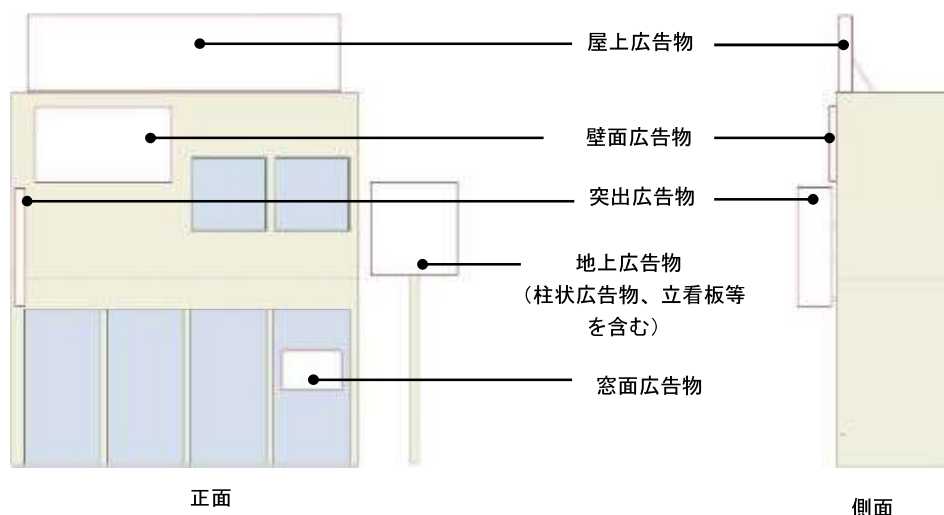
広告物等は、背景となる自然や街並みとの調和に配慮しつつ、温泉街の魅力を引き立てるデザインとすることで一体感を演出し、地区の魅力を高める景観形成を目指します。

※**広告物等**：広告物（常時又は一定の期間、屋外で継続して公衆に表示された、はり紙・はり札・立て看板・広告塔のほか、建築物の壁面等に掲出されているもの）と、案内サイン（特定の事務所、店舗等や、特定の場所への案内又は誘導を目的とする広告物。公共機関が掲出するものも含む）を総称したものの。

項目等	基準	基準が適用される区域
デザイン	<p>○広告物等を掲出する際は、温泉街のイメージを損なわないデザインとする。</p> <p>【解説】 広告物等の掲出にあたっては、定山溪の豊かな自然と調和するよう、構造体（広告物等の支柱等）を落ち着いた色彩に着色するなどの見え方にも配慮しつつ、多色や極端に華美な色彩は避け、すっきりとした印象のものとしましょう。</p> <p>●広告物の参考例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩の彩度に注意しましょう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>高彩度色や原色、発色が良い色彩の使用は控えましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ベースとなる「地」には落ち着いた色彩を使用しましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「地」を無彩色にして文字に原色を使用するなどの工夫をしましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コーポレートカラーなどで鮮やかな色彩は彩度を落として面積を工夫するなど配慮しましょう。</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・色数に注意しましょう。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>広告は多色にならないように配慮しましょう。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>「地」は落ち着いた色彩を用いて文字やポイントにアクセントカラーを取り入れるなど工夫をしましょう。</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  <p>自然と調和するよう配慮された色彩の例</p> </div>	<p>景観まちづくり推進区域</p> <p>景観誘導区域</p>

<p>共通</p>	<p>○広告物等を掲出する際は、多色や華美な色彩を使用しないようにする。</p> <p>○複数の設置が想定される場合は、できるだけ集約化を図り、必要最低限の設置数とする。</p> <p>○周囲の自然や温泉街の街並みと調和したデザインとする。</p> <p>○建築物に付随する広告物等は、建築物の外観と調和するよう、形態や色彩に配慮する。</p> <p>○発光を伴うものは、点滅するなどの動光の変化をしないものとする。</p>
<p>屋上広告物</p>	<p>○屋上広告物は、溪谷や背景となる山並みへの眺望に配慮し、できるだけ設置しないようにする。</p>
<p>窓面広告物</p>	<p>○窓等のガラス面には、広告物を掲出しないようにする。これによりがたい場合は、街並みとの調和に配慮する。</p>
<p>案内サイン</p>	<p>○案内サインは、視認性に配慮した配色や形態とする。</p> <p>※サイン計画を作成した場合は、当該計画の基準を準用する旨を追記する予定です。</p>

広告物等のイメージ



案内サインの例

